



2019年8月7日

各 位

会社名 東洋炭素株式会社

代表者名 代表取締役会長兼社長兼 CEO 近藤 尚孝
(コード番号: 5310 東証第一部)

問合せ先 取締役執行役員管理本部長 堤 宏記
(TEL. 06-6472-5811)

第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異
および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2019年2月14日に公表いたしました2019年12月期第2四半期累計期間(2019年1月1日~2019年6月30日)の連結業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、通期(2019年1月1日~2019年12月31日)の連結業績予想につきましても修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異(2019年1月1日~2019年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,500	2,400	2,400	1,700	81.06
実績値(B)	19,141	3,158	3,066	2,303	109.83
増減額(B-A)	△358	758	666	607	—
増減率(%)	△1.9	31.6	27.8	35.5	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	22,056	4,179	4,092	3,055	146.11

2. 2019年12月期の連結業績予想値の修正(2019年1月1日~2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	5,000	5,000	3,500	166.88
今回修正予想(B)	37,000	5,800	5,800	4,000	190.72
増減額(B-A)	△3,000	800	800	500	—
増減率(%)	△7.5	16.0	16.0	14.3	—
(ご参考)前期実績 (2018年12月期)	41,132	7,009	7,057	4,910	234.52

3. 差異および修正の理由

当第2四半期連結累計期間においては、売上高は、単結晶シリコン製造用をはじめとするエレクトロニクス分野の需要に支えられ概ね想定どおりの着地となりました。また営業利益は、為替が前提レートに比べ円安で推移したことに加え、人件費等の固定費が想定を下回ったことなどにより、計画を上回る結果となりました。

足元では、米中貿易摩擦の激化や日韓の輸出管理問題の影響が懸念されることから、当企業グループを取り巻く事業環境は不透明感が増しており、第3四半期以降の売上高は各用途とも総じて減少する見込みです。このため通期売上高を、2019年2月14日公表の予想値より3,000百万円減(7.5%減)の37,000百万円に修正いたします。利益につきましては、売上高は減少するものの、引き続きコスト抑制に努めることで、下期の営業利益は概ね当初計画(2,600百万円)どおりとなる見込みです。これらの状況と第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、通期の営業利益を800百万円増(16.0%増)の5,800百万円に修正し、あわせて経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益を修正いたします。

(第3四半期以降の想定為替レート：105円/US\$、125円/EUR、15.5円/人民元)

(注) 上記の予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上